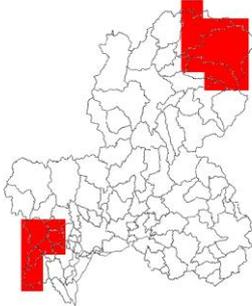


キンバイソウ	<i>Trollius hondoensis</i> Nakai	絶滅危惧Ⅱ類
		キンポウゲ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が大幅に減少している。大部分の個体群がその再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	写真(箕浦博之)
形態の特徴	茎は直立し、高さ40-80cmになり、上部で分枝する多年草。根生葉と下部の葉は長い柄があり、葉身は円心形、各裂片はまた3中～浅裂する。上部の茎葉は単純である。花期は7-8月。枝先に径3-4cmの橙黄色の花を3-5個つける。	
生態的特徴	山地の林縁や草地及び落葉広葉樹の林床に生える。	
分布状況	日本固有の種。本州(中部地方、伊吹山)の温帯上部～亜寒帯に分布する。県内では県北の東部及び県南の西部に生育する。	
減少要因	本種の分布域は県北及び県南の狭い地域に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定することのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)	

文責:佐藤和良